

令和5年度えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会

議事要旨

日時：令和6年3月7日（木）15：00～17：00

会場：えりも町福祉センター 大会議室
（オンライン併用開催）

議事①：令和5年度(2023年度)事業実施結果について

事務局より資料1「令和5年度事業実施結果」について、小林委員より「2023年度環境省ゼニガタアザラシモニタリング調査報告」について報告した。

【主な質問・意見等】

→特になし。

議事②：令和6年度(2024年度)事業実施計画(案)について

事務局より資料2「令和6年度事業実施計画案」について説明した。

【主な質問・意見等】

- ・令和5年度の捕獲目標頭数が55頭であったのに対し、令和6年度の捕獲目標数が50頭になったのは何故か。（漁業関係者）
→例年の捕獲目標頭数の基準が50頭であるが、令和5年度は前年度に不足していた5頭をキャリーオーバーした結果、捕獲目標頭数を55頭としていた。（事務局）

議事③：次期管理計画(第3期)の方向性について

事務局より資料3「次期管理計画(第3期)方向性検討案」について説明した。

【主な質問・意見等】

- ・実施計画については特に問題はないが、第3期管理計画には、漁業被害も含めた、個体群管理(個体数調整等)について漁業者が率直に理解できるような部分(数値的に見えるような形)をもう少し盛り込んで、5年間を進めて頂きたい。（漁業関係者）
→捕獲データ等については、次回までに資料を準備しておく。（事務局）
- ・忌避装置に代わる新たな手法も早期に取り入れた中で、漁業被害の軽減に繋げていって頂きたい。また、タコに対する漁業被害の軽減についても何か検討している部分だけでも漁業者に伝わっていくように、何か具体的なものがあれば進めていってもらいたい。（漁業関係者）
→3期計画を作成する中で、新たな技術等があれば試していきたいと考えている。（事務局）
- ・もしどこかの網に格子網を付けずに放置しておいたら、アザラシはその網に集まり、他の網の被害は軽減するか。（漁業関係者）
→サケが壊滅的に減っている現状では、アザラシの行動も変化してきており、今は若い個体はサケが食べられることを知らない状況である。もしサケが捕れていて、格子網が付いていない網があれば多分そこにアザラシは集まると思う。（委員）
- ・格子網を付けていても、目に見えない被害はまだある。また、アザラシが網の中に入らなくても網の周りに居るとサケは網を逸れていく。襟裳岬の岩礁付近には餌となるアイナメやカジカ、タコがいなくなったため、庶野や近浦方面にアザラシが行っているのではないかと思う。（漁業関係者）

- ・ 去年は何頭確認して、何頭産まれたのか。（漁業関係者）
- ドローンで調査を実施しているが、産まれた数は何頭居るかということを確認していないため、正確なことは言えないが約 200 頭ぐらい生まれたのではないかと思う。（事務局）
- もう少し個体群管理の水準を下げたところで維持していけるようにしてほしい。（漁業関係者）
- 0.6 ぐらいでどうか。（漁業関係者）
- ご意見を踏まえ、第 3 期計画を進められればと思う。（委員）

本協議会を以て、令和 6 年度(2024 年度)事業実施計画(案)は承認された。

以上